

平成 25 年度 市民ワーキング管理運営部会 第 1 回・第 2 回の意見集約【諸室別】

	基本計画より	市民ワーキングより
大ホール	<p>大型の舞台芸術の上演機能を備えるとともに、可動式音響反射板を設置し生音の響きを活かすことのできる多目的なホールを目指します。この大ホールは、多くの市民が優れた芸術文化を身近に鑑賞することを主たる目的とする一方で、市民の芸術文化活動の発表の場としても機能します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スタンウェイマラソンコンサート ● カルメンやヘンゼルとグレーテルなど大人から子供まで出演するオペラを市民合唱団とプロの歌手(オーディション)により開催する ● 批評講座公演(終演後に批評をする講座) ● (前述の意見に対して)大反対! 批評より創造のほうがはるかに大切です。これは小田原のセンターの方向性です ● 小田原演劇祭・高校演劇全国大会(全国の高校生) ● 子どもの感性の育成。創作ミュージカル(歌、ダンス、演技)。5年10年の育成プログラム。小田原の魅力「自然+文化」 ● 日本の伝統芸能は素晴らしいので次世代に受け継ぐためにもイベントをしてほしい ● 小田原で現在活動している方たちで一つのステージを創る。レビュー等ジャンルを超えて構成できる作品 ● 市民オペラ(創作の既成作品)上演に向けてワークショップ等での育成。ハイライト上演などから始め観客の育成。できればプロオケ。アマ(一般オーディション) ● 市民ミュージカル(創作の既成作品)上演に向けてワークショップ等での育成 ● ミュージカルや音楽劇など参加型制作事業 ● 小田原出身劇団、相模原舞台同盟の大ホール公演 ● 小田原の戦争アーカイブ作り、ドキュメンタリー上映、ワークショップ(映画製作) ● 市民オペラ、オケは楽友協会、合唱は市民合唱団、主役はプロで行う ● 城下町ランウェイ、服飾のワーキング、デザインコンテスト、デザインショー 足利銘仙のような目玉の開発。小田原撃、服飾学校着物展 ● 小田原で生まれた白秋童謡を国中や街中で歌ってもらうため、気心の知れたファミリー、仲間等で白秋童謡を歌うコンクールを開催し、将来に渡って白秋童謡を歌い継いで行く ● 小田原おでんコンテスト最終決戦大会! B-1グランプリみたいに ● 全国から学校にとらわれない楽器の合奏団を募集し、コンクールを開催する。弦楽や管楽の合奏団がコンクールに出場することにより目標が生まれ、演奏技術の向上を目指す ● 映画祭でのWメインに。もう一つはT.O.H.O ● “エヴァンゲリオンクラシックコンサート”箱根、小田原ゆかりのエヴァの劇中曲をスターウォーズクラシックコンサートみたいにクラシックコンサートをやる。カルテットは必要 ● スーパーサイエンス講座、音楽、パフォーマンス、科学実験講座 ● 良質の舞台、演奏会、歌舞伎など生で観る機会。私自身が小学校で観た低レベルの音楽劇が原因で、ミュージカル、演劇が大嫌いでした ● オケストラ公演 ● 小田原アーカイブ映画祭(名画)with レクチャー、毎年テーマを決めて、名作を上映。著名・評論家・歴史家(時代背景や登場人物像から歴史を学ぶ)の講演、解説をコラボ ● ファッションショー。車のショー。アーティストの展示とフォーラム ● ガンダム興し。ジオラマ展、イラスト展、クイズ大会、映画上映、コスプレ、その他
	<p>舞台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラシック音楽・ポピュラー音楽などの音楽芸術やオペラ・バレエ・ミュージカル・演劇・歌舞伎等の舞台芸術など各ジャンルの公演 ・ 市民による各種芸術文化活動の発表、市民集会、学校や事業所の式典、大規模大会など ・ 生音の響きが求められるオーケストラによる音楽利用から、本格的な舞台芸術作品の上演まで、多様な演目に対応することのできる多目的型とします。 ・ 可動式音響反射板を備えることで、生音の響きを活かす音楽利用にも十分に対応 ・ 本格的な舞台芸術作品の上演に対応できる充実した舞台設備、十分な広さの側舞台 ・ プロセニウム形式の舞台を持つホール ・ 大型搬入車両による荷捌きが可能な搬入口 ・ 楽器庫、舞台備品倉庫 	
	<p>客席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 客席 1,200 席程度、1 階席のみを利用した 700 席から 800 席程度の中間的な規模のホールとしての利用もできる ・ 舞台上からの音を客席全体に有効に響かせることができる ・ 基本は固定客席、オーケストラピットなど一部可動 ・ 車いす、介助者の鑑賞環境を確保 ・ 客席後部に各種調整室、多目的室 	
付随機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイエに、パーカウンター、トイレ、主催者事務室や客席係控室、クローク、付随する倉庫 ・ 十分な設備を備えた大・中・小楽屋、楽屋エリアに、舞台技術スタッフ控室、アーティストラウンジ、給湯室、トイレ、シャワー、洗濯・乾燥機スペース、楽屋事務所など 	
小ホール	<p>多くの市民が自ら芸術文化活動の成果を発表・上演するとともに、優れた公演を鑑賞することのできるホールを目指します。特に可動式音響反射板を設置した時には、生音の響きを十分に活かすことのできるホールとして計画します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的なソリストの子供向けのコンサート。各回毎に楽器を変えてそれぞれの楽器を知ってもらう。音大生や小田原出身の若手に依頼(演者も育てる) ● [再掲]カルメンやヘンゼルとグレーテルなど大人から子供まで出演するオペラを市民合唱団とプロの歌手(オーディション)により開催する ● [再掲]小田原演劇祭・高校演劇全国大会(全国の高校生) ● 文化事業の企画実施のアートマネジメント教育プログラム。大学生主催の小中学生のアート創造活動への実施支援。プログラムに組み込む ● [再掲]日本の伝統芸能は素晴らしいので次世代に受け継ぐためにもイベントをしてほしい ● [再掲]小田原で現在活動している方たちで一つのステージを創る。レビュー等ジャンルを超えて構成できる作品 ● レクチャーコンサート・短時間・休憩無し(楽器に触れたりする体験含む)。忙しい子どもたちに優先度をあげてもらうにはどうしたらよいか。有料でも来るのか。速読講座、会員制、「中スタジオ」ex.ミューザの市民交流室 ● [再掲]小田原の戦争アーカイブ作り、ドキュメンタリー上映、ワークショップ(映画製作) ● [再掲]城下町ランウェイ、服飾のワーキング、デザインコンテスト、デザインショー 足利銘仙のような目玉の開発。小田原撃、服飾学校着物展 ● [再掲]小田原で生まれた白秋童謡を国中や街中で歌ってもらうため、気心の知れたファミリー、仲間等で白秋童謡を歌うコンクールを開催し、将来に渡って白秋童謡を歌い継いで行く ● [再掲]小田原おでんコンテスト最終決戦大会! B-1グランプリみたいに ● [再掲]全国から学校にとらわれない楽器の合奏団を募集し、コンクールを開催する。弦楽や管楽の合奏団がコンクールに出場することにより目標が生まれ、演奏技術の向上を目指す ● スーパープレゼンテーション、音楽講座(現代音楽、音楽) ● [再掲]良質の舞台、演奏会、歌舞伎など生で観る機会。私自身が小学校で観た低レベルの音楽劇が原因で、ミュージカル、演劇が大嫌いでした ● クラシックのリサイタル ● 一流のアーティストのコンサート ● [再掲]ガンダム興し。ジオラマ展、イラスト展、クイズ大会、映画上映、コスプレ、その他
	<p>舞台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラシック音楽・ポピュラー音楽などの音楽芸術やミュージカル・演劇等の舞台芸術、伝統芸能など各ジャンルの公演 ・ バレエやピアノなどをはじめとする市民による各種芸術文化活動の発表、市民集会、講演会、映像作品の上映など ・ 生音の響きが求められる音楽利用から、舞台芸術作品の上演まで、多様な演目に対応する多目的型 ・ 可動式音響反射板を備えることで、生音の響きを活かす音楽利用にも十分に対応 ・ 舞台芸術作品の上演に対応できる舞台設備 ・ 大型搬入車両による荷捌きが可能な搬入口 ・ 楽器庫、舞台備品倉庫 	
客席	<ul style="list-style-type: none"> ・ 300 席程度の段床式の固定席 ・ 張出舞台が容易に設置できるように、一部席の取外し可能 ・ 車いす、介助者の鑑賞環境を確保 ・ 客席後部に各種調整室、多目的室 	

	基本計画より	市民ワーキングより
大スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化創造活動の公演、練習やりハーサル、展示などに利用 ・ 大ホール主舞台に準じる広さ ・ 演出家やデザイナー、スタッフが控えるためのスペースを確保 ・ 舞台芸術の創造を支える演出設備や機能、小規模な公演や試演会などが行える演出設備や機能を備える ・ 平土間とし、舞台芸術や音楽芸術の公演だけではなく、自由な発想での利用を支援ができ、遮音や静音性など建築音響性能 ・ 内容によって、ホール楽屋、展示、懇親会会場としても利用できる機能と、動線 ・ ギャラリーとの連携 ・ 更衣室や控室としても転用できる諸室、倉庫 	<ul style="list-style-type: none"> ● [再掲] (仮称)アンデパンダン展 多様化された芸術、インスタレーション、パフォーマンス、映像作品を全て受け入れることのできるホール(ギャラリー)。そして、これは、小田原を代表できるイベントとして、市外の人も呼べるイベントにしたい。 ● [再掲] 全国公募のコンテンポラリーアート展 ● [再掲] 定期的なソリストの子供向けのコンサート。各回毎に楽器を変えてそれぞれの楽器を知ってもらう。音大生や小田原出身の若手に依頼(演者も育てる) ● [再掲] 子どもの感性の育成。創作ミュージカル(歌、ダンス、演技)。5年10年の育成プログラム。小田原の魅力「自然+文化」 ● [再掲] 日本の伝統芸能は素晴らしいので次世代に受け継ぐためにもイベントをしてほしい ● [再掲] 小田原で現在活動している方たちで一つのステージを創る。レビュー等ジャンルを超えて構成できる作品 ● [再掲] レクチャーコンサート・短時間・休憩無し(楽器に触れたりする体験含む)。忙しい子どもたちに優先度をあげてもらうにはどうしたらよいか。有料でも来るのか。速読講座、会員制、「中スタジオ」ex. ミューザの市民交流室 ● センターステージでやる。(ファッションショーや青山円形劇場のような)平土間で制約なし自由使いたいからロールバック不要 ● 演劇など、自ら作り上げる ● [再掲] 神奈川県華道展。水屋を必要としての神奈川県最大イベントである。 ● [再掲] アート作品とコンテンポラリーダンスのコラボ ● [再掲] 世界的アーティストのコンテンポラリー作品展示 ● ミュージックストリート等のミュージシャンが小田原の曲をつくり、映画祭のショートフィルムの監督が画をとり、市民が出演(するかしないかは監督次第) ● 芸大、美大、音大との提携。ex. 卒業制作展の開催や学生へのギャラリー、スタジオ等の使用量の割引 ● [再掲] 夜、暗くなってからのしめるイベント。アートフェスなど。 ● 食の「文化」を楽しめる空間、イベント。(小田原産の食材、メニューなど) ● 現代作家のアート展示 ● コンテンポラリーダンス ● 飲食できるジャズ公演 ● [再掲] まちなかミュゼ(仮称) Art Now ホールを中心に小田原の有形文化財の松永記念館、小田原文学館(清閑亭)、の高居等を含めてのイベントである。場所により、展示、場所によりパフォーマンス…。大勢の方が楽しめる、文化観光のイメージをもつてのイベントである。 ● 大ホールでの公演の前に最後のリハーサルに大スタジオを利用したい(例、小田原フィル、こゆるぎ座) ● 大ホールを利用(出演)する人達の控室やりハーサルのために利用する(プラスバンドの大会)

ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4m程度の有効天井高さを備え、350 m²程度の展示空間を確保 ・ 可動展示パネルにより、小展示空間に分ける区画としても活用 ・ 展示利用以外にも、関連するワークショップや講演などの利用、音楽とのコラボレーションなど多様なアートシーンに対応 ・ 準備室、備品庫、収納他も 	<ul style="list-style-type: none"> ● (仮称)アンデパンダン展 多様化された芸術、インスタレーション、パフォーマンス、映像作品を全て受け入れることのできるホール(ギャラリー)。そして、これは、小田原を代表できるイベントとして、市外の人も呼べるイベントにしたい。 ● 全国公募のコンテンポラリーアート展 ● コンセプチュアル写真大会。コンセプチュアルアートの写真に特化したものの大会(コンテスト) ● 神奈川県華道展。水屋を必要としての神奈川県最大イベントである。 ● [再掲] 城下町ランウェイ、服飾のワーキング、デザインコンテスト、デザインショー 足利銘仙のような目玉の開発。小田原撃、服飾学校着物展 ● アート作品とコンテンポラリーダンスのコラボ ● 世界的アーティストのコンテンポラリー作品展示 ● [再掲] 芸大、美大、音大との提携。ex. 卒業制作展の開催や学生へのギャラリー、スタジオ等の使用量の割引 ● 夜、暗くなってからのしめるイベント。アートフェスなど。 ● [再掲] 食の「文化」を楽しめる空間、イベント。(小田原産の食材、メニューなど) ● まちなかミュゼ(仮称) Art Now ホールを中心に小田原の有形文化財の松永記念館、小田原文学館(清閑亭)、の高居等を含めてのイベントである。場所により、展示、場所によりパフォーマンス…。大勢の方が楽しめる、文化観光のイメージをもつてのイベントである。 ● だるだらけにしてもいいような設備を ● 展示室でも、演劇、映画鑑賞ができるような、簡単な設備を。照明等。 ● 床は木がいい。地域材を使って、小田原らしいものに。運営を考えれば、県立音楽堂のように木(地域材)を効果的に使うことで、30年、50年たっても古くならず、味わいが増すことによって、ここをぜひ使いたいという人たちが増える
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

その他諸室	中スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模の練習やりハーサルが行える室 ・ 公演利用に際しては、楽屋や控え室として利用することも想定 ・ 中スタジオは小ホールの主舞台に準じる広さ 	<ul style="list-style-type: none"> ● [再掲] (仮称)アンデパンダン展 多様化された芸術、インスタレーション、パフォーマンス、映像作品を全て受け入れることのできるホール(ギャラリー)。そして、これは、小田原を代表できるイベントとして、市外の人も呼べるイベントにしたい。 ● アートの楽しさを体験するワークショップ ● プロによる「その仕事につく為」のワークセミナー ● [再掲] 文化事業の企画実施のアートマネジメント教育プログラム。大学生主催の小中学生のアート創造活動への実施支援。プログラムに組み込む ● [再掲] 子どもの感性の育成。創作ミュージカル(歌、ダンス、演技)。5年10年の育成プログラム。小田原の魅力「自然+文化」 ● [再掲] 小田原で現在活動している方たちで一つのステージを創る。レビュー等ジャンルを超えて構成できる作品 ● [再掲] レクチャーコンサート・短時間・休憩無し(楽器に触れたりする体験含む)。忙しい子どもたちに優先度をあげてもらうにはどうしたらよいか。有料でも来るのか。速読講座、会員制、「中スタジオ」ex. ミューザの市民交流室 ● ラジオドラマの政策。小田原をテーマにした作品を作り、優秀なものはFMおだわらで放送。CDにして販売など。小田原の宝物をみんなで探して発信する ● [再掲] 3.11 チャリティーバザー(定期的に)、コンサート ● アーティストが制作する場を公開して作品ができるプロセスを見る。 ● [再掲] 食の「文化」を楽しめる空間、イベント。(小田原産の食材、メニューなど) ● [再掲] まちなかミュゼ(仮称) Art Now ホールを中心に小田原の有形文化財の松永記念館、小田原文学館(清閑亭)、を含めてのイベントである。場所により、展示、場所によりパフォーマンス…。大勢の方が楽しめる、文化観光のイメージをもつてのイベントである。 ● 小田原・箱根ベースキャンプ(名所を知る、ここから出かける)。小田原の見所のパネル紹介。小田原伝統芸能の定期的上演。小田原伝統技能の定期的実演
	小スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人や少人数での練習やりハーサルなどが行える室 ・ 中スタジオより小規模 ・ 肉声や生音の楽器の練習に適したスタジオと、電気楽器を使用できる吸音性能と遮音性能を備えたスタジオ ・ ピアノやドラムセットを常設する室を検討 	
	ワークショップルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップや会議、小規模のレクチャーなどが行える室 ・ ワークショップルームは複数計画、必要に応じて隣室と一体利用ができる ・ 隣室間では、一定の遮音性能を備える 	

	基本計画より	市民ワーキングより
広場		<ul style="list-style-type: none"> ● 太鼓の祭ばやし、北条太鼓、蘇我の寿舞、寺山の鹿島踊、山王神社の木槍、相模人形芝居等の郷土芸能を鑑賞する(各所から出場してもらう) ● 【再掲】(仮称)アンデパンダン展 多様化された芸術、インスタレーション、パフォーマンス、映像作品を全て受け入れることのできるホール(ギャラリー)。そして、これは、小田原を代表できるイベントとして、市外の人も呼べるイベントにしたい。 ● 【再掲】アートの楽しさを体験するワークショップ ● 【再掲】全国公募のコンテンポラリーアート展 ● 【再掲】定期的なソリストの子供向けのコンサート。毎回毎に楽器を変えてそれぞれの楽器を知ってもらう。音大生や小田原出身の若手に依頼(演者も育てる) ● 小田原ならではの(地域資源を活かした、再生可能なもの)のアート・フェスティバル ● 映像マッピング ● 3.11 チャリティーバザー(定期的に)、コンサート ● 酒博、オクトーバーフェスト梅酒版 ● 小田原囲碁将棋部、格安の囲碁将棋所として囲碁などを文化として育てる。平塚の「木谷」の好敵手の呉清源が小田原在住なのに ● 【再掲】夜、暗くなってからのしめるイベント。アートフェスなど。 ● 食の「文化」を楽しめる空間、イベント。(小田原産の食材、メニューなど) ● フィルムフェスタ。飲食しながら楽しめるもの。そこでオペラ・歌舞伎等の映像も上映し、生のステージへ誘導 ● 【再掲】まちなかミュゼ(仮称)Art Now ホールを中心に小田原の有形文化財の松永記念館、小田原文学館(清閑亭)、を含めてのイベントである。場所により、展示、場所によりパフォーマンス…。大勢の方が楽しめる、文化観光のイメージをもったイベントである。 ● 植木を作ったコンテスト、シザーハンズのような ● お茶、おいしいお酒ののめる場所 ● アート楽市のような若手アーティストの小物市 ● ゆるゆる歴史祭り。コミケ・コスプレ・クイズ大会・ゲーム大会・コスプレワーキング・イラスト展・武者絵・映画上映 ● アートフェス、アートマート、デザインフェスや井の頭公園のアートマートのようなもの ● (小田原大茶豆大会)単なる野点の茶会ではなく、近隣のカフェやケーキ屋などに城内に喫茶を点在させ、お茶やコーヒーを楽しんでもらいながら城めぐりをしてもらう ● 秋のちょうちん祭り。かまくらぼんぼり祭や赤岡絵金のようなやつ
まちなど		<ul style="list-style-type: none"> ● 【再掲】(仮称)アンデパンダン展 多様化された芸術、インスタレーション、パフォーマンス、映像作品を全て受け入れることのできるホール(ギャラリー)。そして、これは、小田原を代表できるイベントとして、市外の人も呼べるイベントにしたい。 ● 【再掲】全国公募のコンテンポラリーアート展 ● 【再掲】小田原ならではの(地域資源を活かした、再生可能なもの)のアート・フェスティバル ● 【再掲】食の「文化」を楽しめる空間、イベント。(小田原産の食材、メニューなど) ● 【再掲】まちなかミュゼ(仮称)Art Now ホールを中心に小田原の有形文化財の松永記念館、小田原文学館(清閑亭)、を含めてのイベントである。場所により、展示、場所によりパフォーマンス…。大勢の方が楽しめる、文化観光のイメージをもったイベントである。
全館		<ul style="list-style-type: none"> ● 一つのステージを共同して作る。団体が協力して作る ● アートコンプレックス、アートと多分野のコラボダンス、音楽、映像など ● ホールオープンデー。まるごと紹介。メイン企画+市民企画。ピアノを1回1,000円で弾けるとか。 ● 小田原市民感謝デー(まだ具体案はないのですが) ● 芸術文化祭(現市民文化祭) ● 1980年代頃は文化振興を行う意味での事業としてアンデパンダンは行われたが、今は高齢化され、また世代だけの村から交流できない時代の中で、世代の交流と育成をテーマとしてのジャンルを超えてのアンデパンダン展を開催。絵画、彫塑、オブジェ、書、インスタレーション、パフォーマンス、映像など幅広い対応性のできるイベントとして開催。(アンデパンダン展。ジャンルを超えるので、展示系、パフォーマンス、映像すべてを含んでのものである。年齢を交流させる。ワークショップ等を大スタジオ、中スタジオで、フォーラムなどをホールにて ● どこでも映画祭。市民ホールの至るところを使用しての上映会。旧作、ショートフィルム、トークセッション

その他

- 具体的事業を選別するのではなく、それぞれを成立させて、能率的に目的を達成できる、統合的な骨格を具体的に企画していくのがこのましい。
- (病院など) (参考) キッズアートプロジェクト・子どもたちにアートの力で元気になってもらう、社会に役に立つ事業を行うことで、一部の人たちだけが楽しんでいない。センターの必要性を理解してもらう。
- ビックネームによる指導
- 子どものイベントを多く
- ちょうちんコンテスト
- カフェスペースのチャレンジショップ。独立後は小田原で開業
- バリアフリー映画の作成とワーキング・上映。大藤信郎になぞって影絵、アニメ、コマどりアニメ
- 子どもたちが本物を鑑賞できる事業
- 子どもへの音楽・演技・美術などの体験・指導
- 学校における芸術系科目のホールでの実施
- 親子で楽しめる事業
- シンポジウム
- 一流講師によるセミナーやレクチャー
- ギャラリートーク
- 市民の中からプロを育てる事業
- 小田原在住・出身の新進美術家の育成(制作、発表、助成金)
- 子どもたちが本物を鑑賞できる事業
- コンテスト(デザインフェスタ、POPS、新人音楽家)
- 「子どもたちが本物を鑑賞できる事業」劇団四季や松竹系、宝塚歌劇団の鑑賞とワークショップを。大きい劇団じゃなくてもいいけど
- 「小田原芸術大学の創設」飛躍しすぎ
- 「オープン5年後に高校演劇全国大会を小田原に招致する」これいい。これを盛り上げる！。学生による学生だけのゲキダンは
- 毎月、月例のギャラリーツアー。センター、市民ギャラリーを巡るツアー。多彩な文化・市民活動やアートに触れ、より身近なものとする
- 作家とコンテンポラリーART 市民の触れあう事業
- 各世代様々な分野のアートに触れる機会
- 地元、地域の身近なアーティストの協力で体験機会の増大
- ギャラリーツアー、センター、市内ギャラリーと連携して展示会の紹介
- 企業対抗アートフェスティバル
- バックステージツアー
- 小田原ゆかりの事業
- 杉本博司
- 「市民ミュージカル」いずれやりたい
- 「市民オペラ(+実現のためのワークショップ)」とりあえずのきっかけとして。横須賀市民ミュージカル(スカミュージー)を参考にしてみても？ 8月24、25日かな
- 「市民ボランティア」全体運営サポートも
- 「定期的な子どもたちのコンサート」小中合同音楽会
- 「文化や芸術を支える職能を備える市民を育てる事業」FMおだわらパーソナリティによる“ろう読劇”をやったら楽しそう(いやもう明日にでもやるーっと)
- (和室)和のイベントができるように。タタミを設営できるように。和の空間をつくる。とにかく、和、よごしてよいとか、できること。水も流してよいとか
- どんどこ、よごして
- ギャラリー等の壁面ははりかえできるようにするとか。国立新美術館のように、壁面用のかべが増設してもらえるように。釘が打てるようにしたい！
- 大ホール、小ホール等のそれぞれのロビーが開放されるようにしてほしい。大ホール、小ホールを使用していないときの、そのロビーが・・・
- "お客さんが迷わないようにして下さい。お客さんの休みの場があるようにして下さい！"
- 文化資料 現物 図書、デジタルカタログ
- 小田原の技作品展
- 戦争体験アーカイブ映像
- ホームページ、情報誌、広報紙
- 文化資料室
- ホール美術展の地域公民館への巡回
- 小田原の特産を活かした地域ブランド発信・育成事業(全体的に)
- 小田原物産(小田原風鈴、ちょうちん、いもの、箱根細工 小田原彫り、小田原ブランドとしての芸術文化マーケット)
- 新しい時代の小田原らしさ創造、小田原ブランド展
- 「北原白秋、二宮尊徳など地元ゆかりの人物を題材とした事業(展示会など)」童謡再び
- 「戦争体験アーカイブ映像」平和あつての現在、未来
- 「伝統芸能の公演や継承活動(相模人形芝居下中座、民俗芸能、千人太鼓)」伝統芸能を大切に育てていけないといけません。小田原伝統芸能フェスティバルういろ口上も含めたらダメですか？
- 「小田原物産(小田原風鈴、ちょうちん、いもの、箱根細工、小田原彫り、小田原ブランドとしての芸術文化マーケット)」箱根細工、小田原彫り活用
- ミュージックストリート等のミュージシャンが小田原の曲をつくり、映画祭のショートフィルムの監督が画をとり、市民が出演(するかしないかは監督次第)
- [再掲]3.11 チャリティーバザー(定期的に)、コンサート
- [その他]小田原囲碁将棋部。格安の囲碁将棋所として囲碁などを文化として育てる。平塚の「木谷」の好敵手の呉清源が小田原在住なのに
- 小田原の灯りをいかしての竿灯やねぶたを昔呼んだが。小田原ちょうちんをいかしてのイベント
- [再掲]芸大、美大、音大との提携。ex.卒業制作展の開催や学生へのギャラリー、スタジオ等の使用量の割引
- 芸術家との人的なネットワークづくり
- 芸術大学などとの連携
- 小田原の文化活動の全てを集約した情報発信基地(情報センター、アーカイブ、ライブラリー機能)
- 「笑いの効用を紹介するためのホールを活用」吉本など！小田原芸人育成
- 「林英哲(太鼓)盆踊り大会」和の芸術。十二常の舞
- 「小田原提携アートフェスタ、野外アート+造園+環境美学+ランドスケープ」いいね
- 「地域の老若男女が集結し各々の特技で親睦・交流」40才の成人式。60才の成人式
- 小田原文化のアート・ゲート

- 松永程度の設備
- 子ども向け・上質なものの事業のバランス
- いろいろ口上イベント。地域のホールには核となるイベントがあります。藤沢はオペラ、高円寺は落語、小田原は何を…。大ホールより小ホールを核にイベントをした方が年に 回開催できる(例えばいうの口上大会を年に4回とか)
- 外部の著名なアーティストを呼ぶ時に注意したいのは一過性で終わることが多いので、いかに地元のアーティストと交流させ、つなぎ生かさせるか
- 美術作品などの鑑賞機会の提供
- 映画(映画祭、16mm、バリアフリー、ロードショーに掛からない良品)
- バリアフリー
- 全国規模の展覧会(写真、公募展、現代アート、アンデパンダン展など)
- ガンブラジオラマ風、ガンダムでの興し
- 小田原鉄道文化祭
- シネマトーク的展開(屋外で可能か?)
- 理想的自由展示空間。3次元空間の好きな位置に物体を固定できるスペース
- 全国規模の展覧会(写真、公募展、現代アート、アンデパンダン展など)
- ガンブラジオラマ風、ガンダムでの興し
- 「質の高い招へい事業(コンサート・歌舞伎・バレエ・ミュージカル・オペラ・ガラコンサート等)」こちらが主導ではなく、市民が本当に見たいと思っている人達を呼んでください
- 「TVの公開番組、収録」「NHKのど自慢」「BS日本のうた」「火曜8時のコンサート」
- 「フェスティバル」ダンスイベント! 大人から子どもまで
- 「子ども対象事業」大人向けも
- 「伝統芸能」24時間ぶっとおし落語ライブ
- 「伝統芸能」団十郎との関わりイベント
- [再掲]お茶、おいしいお酒ののめる場所
- 子ども:学校ではやらないこと(制限される)ができる また来たいになる
- ジャンボアート
- ドミノ倒し
- 箱根細工によるアート
- 外部にシンボルの作品
- [再掲](お城)ゆるゆる歴史祭り。コミケ・コスプレ・クイズ大会・ゲーム大会・コスプレワーキング・イラスト展・武者絵・映画上映
- [再掲](お城)(小田原大茶豆大会)単なる野点の茶会ではなく、近隣のカフェやケーキ屋などに城内に喫茶を点在させ、お茶やコーヒーを楽しんでもらいながら城めぐりをしてもらう
- いけばな展(小田原)。神奈川県書道展
- まちなかアート展。文化観光として小田原の歴史的佇まいの場とホールをつなげてのイベント。二の丸広場(三の丸広場)。銅門広場、馬出門広場、清閑亭、松永記念館、小田原文学館等を会場としての新しい小田原らしい芸術文化の創造イベント。展示場所は幅広くする。WSをする。
- これは must 小田原の条例によって
- オープンロビーでのコンサートや展示
- 子どもの遊び場・溜まり場(大人も集まれる)
- 町全体でにぎわいを(町内会対抗コンサート+一流アーティスト、すべてのバンド集合、小田原おじさん(ロカビリーフォーク etc 大集合、商工祭、ちょうちん祭の復活)
- 酒博(梅酒)
- オープンロビーでのコンサートや展示
- 子どもの遊び場・溜まり場(~高校生)
- 外から見えるギャラリー(遮光も必要)
- 「ホール、お堀端通り、二の丸広場一体型の空間を楽しめる催し」お化け(日本版ハロウィン)
- ミュージアム・ショップ
- 動員力のある事業
- ギャラリーはアート重心で
- (その他)イベント関連メニュー提供。特にギャラリーでの催しに関連させるとギャラリーは数日間開催するので人の流れがつかれそう。Ex.文化村
- [再掲]ガンダム興し。ジオラマ展、イラスト展、クイズ大会、映画上映、コスプレ、その他
- 稼働率を高く
- ギャラリーをアトリエとして使用・市民ミュージカル、高校演劇フェス等
- 現代アート中心
- 華道・茶道などもギャラリーの対象(対象ジャンルは広く)
- かべや床を使えるようにする
- 多機能を追求すると本来の目的がうすれる
- 静粛性を絶対に確保する。
- 芸文センターに美術学芸員を置く